

名古屋植物防疫所清水支所交渉（全農林労働組合静岡分会）  
議事要旨

1. 日 時：平成30年7月10日（火）17：25～17：45
2. 場 所：清水港湾合同庁舎5F共用会議室
3. 出席者：名古屋植物防疫所清水支所 中村支所長  
全農林労働組合 静岡分会 立花委員長  
八木副委員長  
西本書記長  
板尾執行委員
4. 議 題：要求書回答交渉  
（全農林労働組合静岡分会提出 別添「要求書」）

5. 議事概要

○中村支所長

ただいまから、全農林労働組合静岡分会からの要求に基づく交渉を始め  
る。

本日の交渉に先立ち、国家公務員法第108条の5の規定に基づく予備交  
渉の段階で取り決めた事項を報告する。

全農林労働組合静岡分会から提出された要求事項が、「新たな労使関係  
の構築に関する基本方針について」第3の1の（3）に定められた要件を  
満たし、交渉対象とする事項は、「Ⅰ 労働諸条件の改善について」の2  
及び3の「定員の確保」を除いた部分、4の「計画的に取得できるよう啓  
発を図り」を除いた部分、「Ⅱ 福利厚生施策の充実について」の「メン  
タルヘルス対策の充実・強化を図り」を除いた部分、「Ⅲ 新たな人事評  
価制度について」とし、その他の事項については、管理運営事項等に該当  
することから要望事項として整理しているため、これを前提に交渉を行う。

発言は交渉対象事項に限っていただくよう改めてお願いします。

それでは、要求書の提出及び趣旨説明をお願いします。

○西本書記長からの要求内容趣旨説明

（西本書記長）

全農林労働組合静岡分会委員長から、名古屋植物防疫所清水支所長あて  
に提出した2018年7月10日付け全農林静岡分会要求第9号による要  
求書に基づき、次の項目について要求するので、個別に回答願います。

『Ⅰ 労働諸条件の改善について』

2. 宿舎については、希望者の意向に沿い、利便性を考慮した場所に確保  
すること。

3. 植物病虫害の国内侵入・まん延防止対策の強化、クルーズ船の検疫対応など業務量の増加に伴い超過勤務は増加している。超過勤務の縮減に向け、業務の効率化を図るなど、実効ある超過勤務の縮減対策を講じること。

また、超過勤務を行う場合は、事前命令を徹底すること。

4. 年次休暇や夏季休暇が取得しやすい職場環境を整えること。また、諸休暇についても取得しやすい環境整備を図ること。

5. 管理者と職員とのコミュニケーションを大切にし、明るく働きがいのある民主的な職場を確立すること。

#### 『Ⅱ 福利厚生施策の充実について』

「農林水産省職員の心の健康づくりのための指針」に基づき、名古屋植物防疫所清水支所における何でも相談できる職場環境づくりを現場管理者が率先して行うこと。

#### 『Ⅲ 新たな人事評価制度について』

期首・期末面談にあたっては、評価結果が処遇に活用されることを十分認識し、被評価者への指導・助言を丁寧に行うとともに、日常においてもコミュニケーションを図ること。

以上、要求するので、回答をお願いします。

#### ○中村支所長

本年4月1日付けで着任した中村です。職員の皆様には、日々の業務の遂行にあたり不断の努力をいただいていることについて感謝申し上げます。今後とも、職場環境の整備、効率的かつ適切な業務運営に取り組んでまいります。

それでは、交渉の対象となる事項について、回答させていただきます。

#### I 労働諸条件の改善について

2. 宿舎については、希望者の意向に沿い、利便性を考慮した場所に確保すること。

公務員宿舎を巡っては、大変厳しい状況ではあるが、人事異動に伴う宿舎の確保に向け最大限努力をしてまいります。

3. 植物病虫害の国内侵入・まん延防止対策の強化、クルーズ船の検疫対応など業務量の増加に伴い超過勤務は増加している。超過勤務の縮減に向け、業務の効率化を図るなど、実効ある超過勤務の縮減対策を講じること。

また、超過勤務を行う場合は、事前命令を徹底すること。

超過勤務の縮減については、①管理職員は、勤務時間外になってからの業務指示は行わないように努める。②水曜日は完全定時退庁日とし、その趣旨の徹底を図る、③支所における業務懇談会で日程調整を行う等業務の平準化を図り超過勤務の縮減に取り組んでいるところである。

今後とも、超過勤務を命ずる場合は、勤務時間内に行うよう事前命令を徹底してまいりたい。

4. 年次休暇や夏季休暇が取得しやすい職場環境を整えること。また、諸休暇についても取得しやすい環境整備を図ること。

年次休暇や夏季休暇については、計画的に使用することが重要であるため、所内のサーバーに休暇計画表を作成し、各自が記入すること、また、ゴールデンウィークや夏季休暇の取得の際には、年次休暇と組み合わせて長期連続休暇となるよう努めるなど、業務懇談会等において促しており、職員が休暇を取得しやすい環境づくりをしているところであり、引き続きこうした取組を徹底してまいりたい。

諸休暇については、掲示板に制度の概要を掲載するとともに照会があった場合には、丁寧に制度説明を行っているところであり、今後とも制度を適切に運用してまいりたい。

5. 管理者と職員とのコミュニケーションを大切にし、明るく働きがいのある民主的な職場を確立すること。

業務運営に当たっては、日頃からのコミュニケーションが重要と考えており、職員の皆様の意見にも十分配慮して、職員が安心して働きやすい職場となるよう、引き続き努力してまいりたい。

## Ⅱ 福利厚生施策の充実について

「農林水産省職員の心の健康づくりのための指針」に基づき、名古屋植物防疫所清水支所における何でも相談できる職場環境づくりを現場管理者が率先して行うこと。

メンタルヘルス対策については、平成22年11月に発出された「農林水産省職員の心の健康づくりのための指針」、平成27年10月からは同指針の改正により、大臣官房参事官（厚生・人事）が策定した「農林水産省職員の心の健康づくりのための運用方針」に基づき実施している。

同運用方針においては、引き続き、心の健康に問題のある職員の早期発見・早期対応のため、職場内の相談体制や外部の専門機関に相談できる体制が整備されており、当所においても職場や専門家が連携して対応している。

職員のメンタルヘルス対策は、円滑な業務運営の観点からも重要な課題であるので、引き続き上部機関・職場が連携して対応する考えである。

### Ⅲ 新たな人事評価制度について

期首・期末面談にあたっては、評価結果が処遇に活用されることを十分認識し、被評価者への指導・助言を丁寧に行うとともに、日常においてもコミュニケーションを図ること。

日常的な指導・助言やコミュニケーションについては、人事評価制度にかかわらず、組織内の意識の共有や業務改善等につながるほか、職場の実情を把握する上で最も基礎的な手段と認識している。

今後とも、日常のコミュニケーションを奨励し、十分理解の得られる人事評価となるよう尽力する考えである。

#### ○立花分会委員長

誠意ある回答内容であるが、今後とも組合員に不利益とならないよう努力いただきたい。

#### ○中村支所長

本日の交渉を踏まえ、今後とも職員の意見も配慮し、職員が安心して働きやすい職場となるよう、引き続き努力してまいりたい。  
以上をもって交渉を終了する。

名古屋植物防疫所清水支所  
支所長 中村 繁 殿

全農林労働組合静岡分会  
委員長 立花 賢



## 要 求 書

私たちは連合に結集し、「底上げ・底支え」「格差是正」と「全ての労働者の立場に立った働き方の実現」を推し進め、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「人的投資の促進」「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現」に向け、2018春季生活闘争を進めています。

一方、農林水産省においては、「農業競争力強化プログラム」を踏まえた「農林水産業・地域の活力創造プラン」等に基づき「強くて豊かな農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けた各種施策を推進していますが、職場は連年に亘る定員削減により超過勤務は慢性化しており極めて厳しい労働環境にあります。

このような状況の中で私たちは、当面する課題を整理し、下記のとおり要求事項をとりまとめました。

貴職におかれては、農林水産行政の円滑な推進と公務員の生活と労働条件を維持・改善するため、下記事項の実現に向けて最善を尽くすよう要求します。

### 記

#### I 労働諸条件の改善について

1. 名古屋植物防疫所清水支所には、官用車が清水支所に2台、静岡空港出張所に1台配置されているが、近年官用車を使用する業務が増加していることから、業務輻輳時には確実にレンタカーを借りることができるよう予算確保を行うこと。
2. 宿舎については、希望者の意向に沿い、利便性を考慮した場所に確保すること。
3. 植物病虫害の国内侵入・まん延防止対策の強化、クルーズ船の検疫対応など業務量の増加に伴い超過勤務は増加している。超過勤務の縮減に向け、業務の効率化や定員の確保を図るなど、実効ある超過勤務の縮減対策を講じること。  
また、超過勤務を行う場合は、事前命令を徹底すること。

4. 年次休暇や夏季休暇が計画的に取得できるよう啓発を図り、取得しやすい職場環境をつくること。また、諸休暇についても取得しやすい環境整備を図ること。
5. 管理者と職員とのコミュニケーションを大切にし、明るく働きがいのある民主的な職場を確立すること。

## II 福利厚生施策の充実について

「農林水産省職員の心の健康づくりのための指針」に基づき、名古屋植物防疫所清水支所におけるメンタルヘルス対策の充実・強化を図り、何でも相談できる職場環境づくりを現場管理者が率先して行うこと。

## III 新たな人事評価制度について

期首・期末面談にあたっては、評価結果が処遇に活用されることを十分認識し、被評価者への指導・助言を丁寧に行うとともに、日常においてもコミュニケーションを図ること。

以 上